

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公表番号】特表2008-502613(P2008-502613A)

【公表日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-004

【出願番号】特願2007-515809(P2007-515809)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

C 0 7 D 471/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/49

A 6 1 Q 5/00

C 0 7 D 471/06 C S P

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

人間の毛髪の光沢又は輝きを改良するための方法であつて、当該方法が、以下の工程(1)及び(2)：

(1) 蛍光ペリレン化合物を含む毛髪処理組成物を人間の毛髪に塗布する工程、及び

(2) 前記組成物を毛髪に留まらせるか、あるいは、前記組成物を濯ぎ落とす工程を含むことを特徴とする人間の毛髪の光沢又は輝きを改良するための方法。

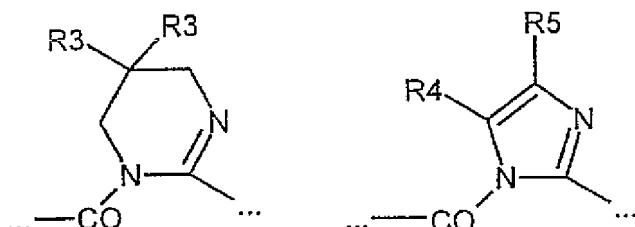
【請求項2】

前記ペリレン化合物が、3位、4位、9位又は10位の少なくとも1つの位置においてカルボニル基で置換されていることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

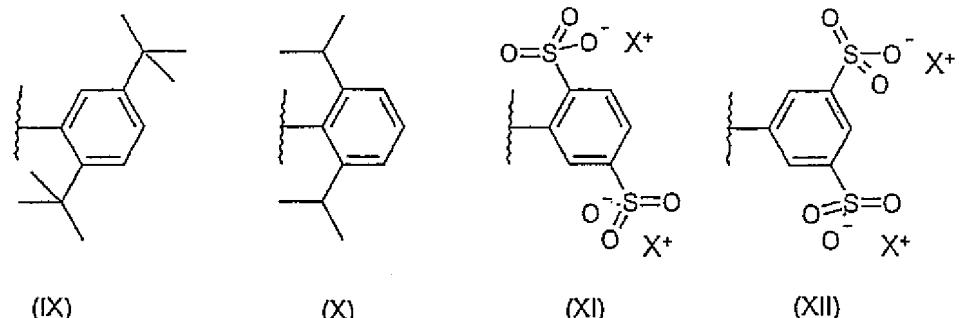
前記ペリレン化合物が、3位、4位及び/又は9位、10位を架橋する基で置換されており、当該架橋基が、-CO-NR1-CO-；

【化1】



〔上式にて、R1は、直鎖又は分枝したC1-C24-アルキルである〕
から選ばれたものであるか、あるいは、

【化 2】



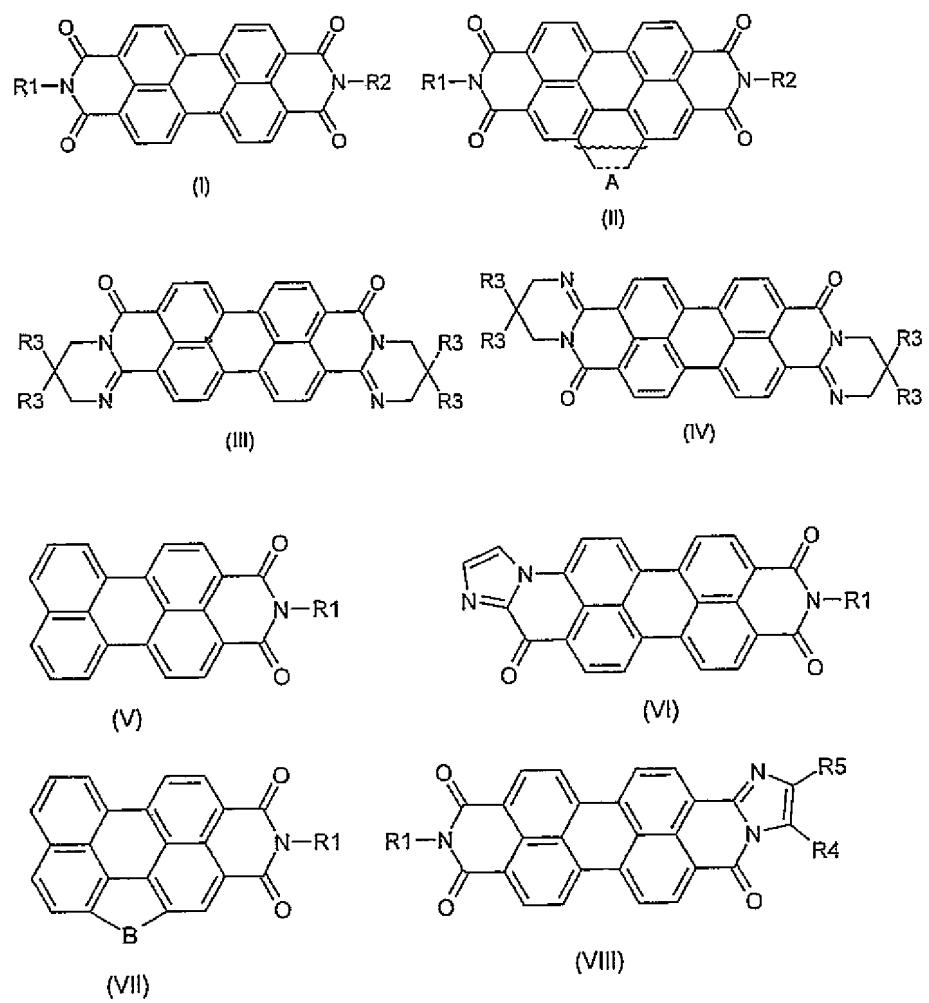
[上式にて、 X^+ は、プロトン又はカチオンであり、R₃ は、直鎖の C₁ - C₉ - アルキル基であり、R₄ と R₅ は一緒に、縮合した炭化水素基を形成する]

から選ばれたものであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の方法。

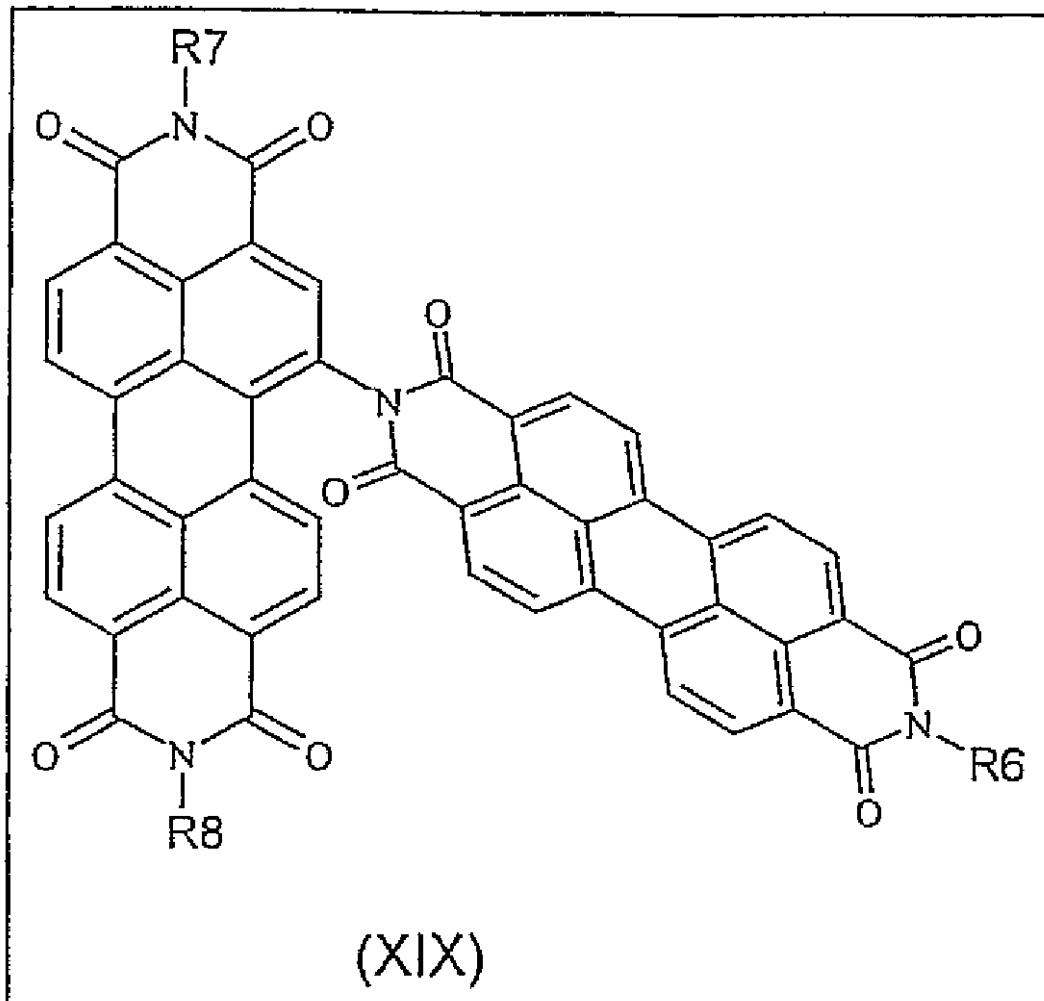
【請求項 4】

前記ペリレン化合物が、

【化 3】



【化4】



[上式にて、R1とR2は独立して互いに、直鎖又は分枝したC₁ - C₂₋₄ - アルキル基であるか、あるいは、請求項3に記載された一般式(IX)～(XII)の基から選ばれたものであり、しかも、R3、R4及びR5は請求項3に記載されたものと同じものを意味し、上式にて、R6、R7及びR8は独立して互いに、直鎖又は分枝したC₁ - C₂₋₄ - アルキル基であり、AとBは、二価の連結基である]

から選ばれたものであることを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

前記ペリレン化合物が、N,N'-ビス(アルキル)ペリレン-3,4:9,10-ビス(ジカルボキシイミド)、N-アルキルペリレン-3,4-ジカルボキシイミド、N,N'-ビス(アルキル)ベンゾ[ghi]ペリレン-2,3,8,9,11,12-ヘキサカルボキシル-2,3;8,9-ビス(ジカルボキシイミド) 11,12-無水物、N,N'-ビス(アルキル)ベンゾ[ghi]ペリレン-2,3,8,9,11,12-ヘキサカルボキシル-トリス(ジカルボキシイミド)、N,N'-ビス(アルキル)チエノ-[2',3',4',5':4,5]フェナントロ[2,1,10-def:7,8,9-d'e'f']ジイソキノリノ-2H,7H-1,3,6,8-テトロン、1-[N¹,-(N²,-(アルキル)ペリレン-3,4:9,10-ビス-(ジカルボキシイミド)]-N¹,N²-ビス(アルキル)ペリレン-3,4:9,10-ビス(ジカルボキシイミド)から選ばれたものであることを特徴とする請求項1～4のいずれか1項に記載の方法。

【請求項6】

前記組成物が、ヘアワックス、ヘアトリートメント、ヘアローション、ヘアゲル、ヘアク

リーム、ヘアフォーム、ヘアスプレー及びシャンプーから選ばれたものであることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

人間の毛髪を処理するのに適したヘアトリートメント組成物であって、当該組成物が、少なくとも 1 種の蛍光ペリレン化合物を含み、しかも、当該組成物が、

少なくとも 1 種のワックス物質を含有したヘアワックスとして存在するか、

少なくとも 1 種の添加ヘアケア物質を含む調合物の形態であるヘアトリートメント又はヘアローションとして存在するか、

少なくとも 1 種のゲル形成剤を含むヘアゲルとして存在するか、

泡立て装置と組み合わせてエーロゾル又はポンプフォームとして存在するか、

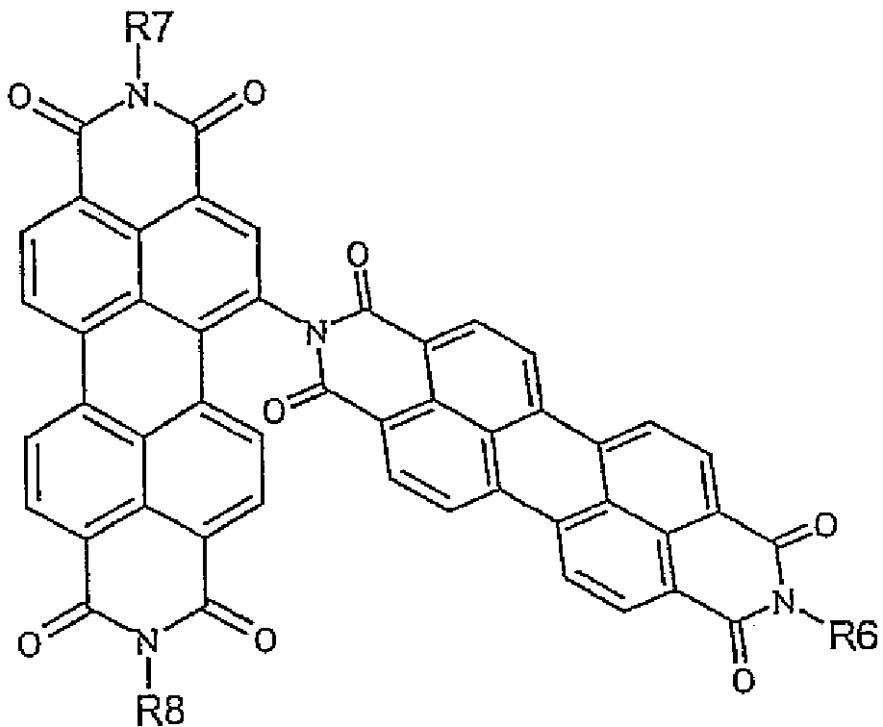
スプレー装置と組み合わせてヘアスプレーとして存在するか、

少なくとも 1 種の洗浄活性界面活性剤を含有したシャンプーとして存在するか、のいずれかであることを特徴とするヘアトリートメント組成物。

【請求項 8】

下記の一般式のペリレン化合物。

【化 5】



(XIX)

[上式にて、R 6、R 7 及び R 8 は、独立して互いに直鎖又は分枝した C₁ ~ C₂₄ - アルキル基である]

【請求項 9】

1 - [N¹ - (N² - (アルキル)ペリレン-3,4:9,10 - ビス - (ジカルボキシイミド)] - N¹, N² - ビス(アルキル)ペリレン-3,4:9,10 - ビス(ジカルボキシイミド)。